

別子山校区まちづくりタウンミーティング 開催結果報告書

開催日時 令和7年7月11日（金）19時00分～20時03分
場所 別子山公民館
司会・進行 別子山校区連合自治会長
参加者数 男25人 女7人 合計32人



1. 市の重点事業に関する質問

なし

2. 校区課題

ハートネットワーク TV の視聴について

(質問者)

地上波のテレビ受信は共聴組合の受信設備を用いて受信しているが、設備が老朽化し、将来は受信できなくなるのではと不安である。ハートネットワークの回線を通じての受信ができないだろうか？

(企画部長)

市側において事前にハートネットワークの確認をしたところ、ハートネットワーク回線

を使用しての視聴は可能であることを聞き取っている。登録費用や宅内工事の費用が別途必要となるが、詳しいことはハートネットワークに問い合わせしてほしい。

インターネット環境の整備について

(質問者)

光回線によるインターネットの利用について、別子山が山間部という条件もあり、全戸の接続が可能となっていない。全戸が接続できるようにしていただきたい。

(企画部長)

過去に国の補助事業を利用しインターネットの接続を希望された世帯は何らかの方法でインターネット回線の接続が可能であると認識している。接続を希望される世帯は市役所デジタル戦略課まで問い合わせしてほしい。スターリンクのような衛星通信を希望される場合は自治会単位で希望者を取りまとめて、デジタル戦略課まで連絡をしてほしい。

大規模災害時における食料等の備蓄対応について

(質問者)

大規模災害が発生し、道路網が寸断され、陸の孤島になった場合を想定して、食料の備蓄を行ってほしい。別子山地区の住民自身が（例えば市の業務委託を受注することにより）資金を確保し、備蓄物資を購入・確保する仕組みが構築できないだろうか。

(市民環境部長)

愛媛県地震被害想定調査（平成 14 年公表）に基づき別子山校区については該当する避難者は 18 名と想定しており、1 箱 50 食入りのアルファ米、おかゆ、飲料水 24 本を備蓄している。さらに今年度より愛媛県地震被害想定調査（平成 25 年公表）に基づき、避難者が 16 名と想定しており、2 食分 32 食が必要と認識している。現在のストックが消費期限を迎えることから、前回と同様に 1 箱 50 食入りのアルファ米、おかゆ、飲料水 48 本を備蓄する予定です。今後、「ゆらぎの森」にも備蓄が可能かどうか打診してみたい。各世帯においても災害に備えて家庭内の食料備蓄に取り組んでほしい。

3. その他

(質問者)

別子山村と新居浜市が合併したときに、合併後にさまざまな取り組みが別子山においてなされてきた。一方、過去に住民から行政に要望した事案について、取組がなされていないものもある。今後、行政として別子山の振興についてどのように考えておられるのかお答えいただきたい。

(市長)

法的な制限、予算の確保等の面で、できること・できないことがある。どのような取り組みが可能なのか、一度整理したうえで回答したい。ずるずる時間が経過することはよくないと思っているので、どこかのタイミングで一定の結論を出したいと考えている。

(質問者)

文書回答となっている給水施設のネットの破損について、アルミのパネルで蓋をすればいい恒久的な対策をとるべきではないのか。

(別子山支所長)

現在、水道工事事業者に修理を発注している。アルミパネルの蓋については、今後、施設の更新工事が発生したとき等に考慮したい。

(質問者)

別子山の住民の方で、障がい者手帳を持たれていて、移動のためのタクシー券を行政から支給されている方がいる。タクシー券の支給ではなく、自家用車で移動したときのガソリン代の補助を実施していただけないだろうか。

(副市長)

タクシー券の支給の制度について、この場ではお答えする材料がないので、一度持ち帰りさせていただき、内部で検討させてほしい。

市長まとめ

今日はお時間をいただき誠にありがとうございました。インターネット通信やテレビの受信状況については前向きになんとか状況を改善したいという思いで回答をさせていただきました。

また、食料備蓄に関しても、まずは民間との連携ということで近いところでゆらぎの森との連携というものも模索しているところだが、お話を伺い、新たな課題をいただいたので、しっかりと検討したいと思っている。

その他に関しても、今一度市役所に持ち帰り、内部で検討を行った上で回答していきたい。今日はありがとうございました。